


市長のタウンミーティング 本江地区

(敬称略)

	開催日時	平成29年11月7日(火) 19:00～21:00
	会場	本江公民館
	参加人数	41名
	開会挨拶 書記	本江地区振興会長 米澤賢太郎 濱田勇輝

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	本江	その他	労災病院に食堂やレストランが無い、玄関や駐車場にアーケードが見当たらない、薬局が遠い、この3点の検討をぜひお願いしたいです。
2	本江	まちづくり	魚津断層帯が動いて地震が発生した場合、避難先など含めてどうしたらよいでしょうか。
3	本江	まちづくり	先日の台風で角川流域に避難勧告が初めて出されたのではないかと思います。その件で、大町住吉地区でどのような対応をとったのかといった情報が、勧告を出されなかった本江地区にもほしいと思います。また、要支援者の名簿作成と弱者救済の避難計画が魚津市としてどの程度進んでいるのか教えてください。
4	本江	まちづくり	災害時の弱者の支援については、ほとんど進んでいない状態になっています。先日の災害を大きな教訓として、早く地域の防災計画を立てなさいと言われてはいますが、具体化には至っておりません。町内会長、自治会長などは年度で変わっていくので、地域に張りついている自主防災がおざなりになっているのが現状です。今回、ちょうどよい教訓もあったので、今後をしっかりと見据えた地域の防災計画を作らなければと思っています。
5	本江	まちづくり	インター線で高速道路を出た人が速いスピードでやって来るので、突っ込み防止対策をしてほしいです。
6	本江	その他	健康センターですが、車も入りにくいので今の場所から動く予定はないですか。百楽荘もなくなって残念です。
7	本江	まちづくり	パークゴルフ場が汚いし狭いので何とかならないでしょうか。
8	本江	まちづくり	水族館と埋没林・ミラージュランドがなぜこんなに離れているのか疑問に思っている。
9	本江	まちづくり	魚津市として自殺防止の相談窓口はないでしょうか。
10	本江	まちづくり	本江一区に、ユニークなりんご並木がありますので、この貴重なりんご並木を守っていただきたいと思います。
11	本江	まちづくり	いろんな方法で質問と回答ができるように、タウンミーティングの進め方を見直してほしいと思います。

その他に3件のご意見あり

平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	本江地区	日時	11月7日(火) 19時00分より 21時00分まで	参加者数	41名
会場名	本江公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	税務課 濱田 勇輝
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか		地区からの 主な参加者	地区振興会長、区長ほか	

1. あいさつ

地区振興会長 米澤 賢太郎

2. 市長談話

市長 村椿 晃

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

○「第48回衆議院議員選挙の投票率」について

○うおづのうまい水 モンドセレクション最高金賞受賞

○たてもんの森 文化の継承

○人口について

- ・住み良さランキング（東洋経済新報社）について
- ・魚津市の現状・将来予想

○子育て支援について

- ・安心して産み育てる環境の整備
- ・仕事と家庭の両立等
- ・経済的負担の軽減

○教育環境について

- ・小学校英語教育の推進
- ・教育用ICT環境整備
- ・通学の安全、安心対策
- ・ふるさと教育

○まちづくりについて

- ・定住、空家対策

○災害に強いまちづくりについて

- ・津波のハザードマップについて

○健康寿命の延伸について

- ・魚津市民の健康（がん死亡率等）

3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

○労災病院について（その他）

労災病院が完成し、産科も開設されるので大変喜ばしいですが、労災病院に食堂やレストランが無い、玄関や駐車場にアーケードが見当たらない、薬局が遠い、この3点の検討をぜひお願いしたいです

（村椿市長）

食堂、レストランが無いというのは私も課題だと思っております。労災病院に産前産後ケア施設を開設すると、お母さん、子供たち、お爺ちゃん、お婆ちゃんたちが集まるような場所になるので、そういったものは必要だと思っております。ただ、市役所が作るかどうかは悩ましいので、どういった展開ができるかどうかを考えていきます。アーケード、薬局については労災病院に働きかけていきます。

○避難先・市民プール・公民館について（まちづくり）

市長談話に関して、目標年月日が出ていなかったのですが、これからの課題ということで、頑張っていたきたいと思っております。魚津断層帯が動いて地震が発生した場合、避難先など含めてどうしたらよいのでしょうか。また、避難先として吉田グラウンドもあげられていますが、体育館を取り壊すという噂があり、海拔が低いありそドームにプールを移動してよいのでしょうか。公民館が劣化しているので何とかしてほしいです。

（村椿市長）

目標を立てて頑張れとのお言葉ありがとうございます。そのような気持ちで頑張ります。まず、公民館の話からします。この公民館の建替は急務だと思っておりますので、地域の皆さんに土地利用の問題などの相談に乗ってもらって、話を進めています。土地利用の問題が解決すれば、できるだけ早く公民館の建替を進めます。地震の断層の話ですが、大きい問題だと思っております。市長談話で飛ばしてしまいましたが、先ほどの資料の津波ハザードマップ作成スケジュールを見ると、11月上旬に魚津防災士連絡協議会への説明会をすることになっています。その後、年内にかけて沿岸地区で地区住民説明会をして、その上で津波ハザードマップを完成させて、沿岸地区の全世帯に配布していきます。魚津断層帯は、直下型地震が起きた場合に、どういう被害が起きるかを想定しないといけません。魚津市の職員では無理なので、文部科学省の研究機関がやります。ただ、日本全国に断層がたくさんあって、優先順位が付いており、魚津断層帯の順番が回ってくるのはまだ先になりそうです。少しでも早く断層調査をして、被害想定ができるように国のほうに働きかけをしていますので、いつまでとは言えませんが少しでも早くできるように頑張っていきます。吉田グラウンドとプールの件ですが、これは市が決めるわけではないですが、プールのあり方などを検討していただいているところから、ありそドームの隣接地に市の下水道の施設用地があるので、そこを活用するのも一つだという建議をいただいております。市として正式にその場所になるとは言っていないので、建議をもとに実現性を検討しています。吉田グラウンドは、魚津の真ん中にあり、そこをどのように活用して整備すれば、魚津市として発展性があるかを検討しています。地域の方々に利用してもらいたいのももちろん大切ですが、いろんな方々にお金を使っただけのような場所になるかもしれません。

○避難勧告時の対応について（まちづくり）

先日の台風で角川流域に避難勧告が初めて出されたのではないかと思います。その件で、大町住吉地区でどのような対応をとったのかといった情報が、勧告を出されなかった本江地区にもほしいと思います。また、要支援者の名簿作成と弱者救済の避難計画が魚津市としてどの程度進んでいるのか教えてください。

（村椿市長）

一つ目の避難勧告の話ですが、私のところに6時くらいに連絡が来て、角川が氾濫危険基準をまもなく超えそうとのことだったので、避難勧告を出す判断をしました。実際に発令したのは7時40分ごろで、もう少し早めに発令した方が良かったかなと反省しています。11時前には水位が下がったということで解除しました。その時に、防災係長が今まで発令したことがなかったのに、情報の伝達がうまくいかなかったことが反省点だと申し立てました。情報の共有化という点も含めて、いかにして住民の方々にリアルタイムに状況と対応を伝えるのが大きな課題だと思っています。二つ目の要支援者の問題はまだできていません。

（川岸企画総務部長）

初めて避難勧告を出しましたが、本来はもう少し水位が低い段階で避難準備情報を出すこととなりますが、水位だけでなく、上流域の雨量を見た結果、すぐに避難勧告を発令することになりました。今回は、角川流域の浸水のハザードマップで水が来る可能性があるところに限定して発令しましたが、初めての試みだったので、本来はNHKやNICETVに、どこの地域に何世帯避難勧告が出され、避難場所がどこに開設されますという情報が表示されるのですが、今回はただ魚津市に避難勧告が発令したという情報にとどまったので、今後は他地区の皆さんにもそういう情報を共有できるようにしていかなければならないと思います。

高齢者については、担当課で地区に高齢者で支援が必要な方の名簿はお出ししていますが、具体的に誰がどういう避難所に、どのようにして一緒に避難するのかを、これから地域の皆さんと考えねばならないと思っています。

○避難勧告時の対応について②（まちづくり）

名簿はどの程度情報共有されているのですか。

（川岸企画総務部長）

個人情報について徹底してもらうことを条件に、地区の民生委員の方にはお出ししています。

○災害時の弱者支援について（まちづくり）

災害時の弱者の支援については、ほとんど進んでいない状態になっています。先日の災害を大きな教訓として、早く地域の防災計画を立てなさいと言われてはいますが、具体化には至っておりません。町内会長、自治会長などは年度で変わっていくので、地域に張りついている自主防災がおざなりになっているのが現状です。今回、ちょうどよい教訓もあったので、今後をしっかりと見据えた地域の防災計画を作らなければならないと思っています。

(村椿市長)

ありがとうございます。おっしゃる通りなので、できるだけ多くの方に関わってもらって、地域の防災計画を作っていきたいと思います。

○インター線の安全対策について（まちづくり）

本江一区の見守り隊をやっていますが、インター線で高速道路を出た人が速いスピードでやって来るので、突っ込み防止対策をしてほしいです。

(村椿市長)

状況を確認し、警察も含めて相談していきたいと思います。

○健康センターの移転・百楽荘の廃止について（その他）

健康センターですが車も入りにくいので今の場所から動く予定はないですか。百楽荘もなくなって残念です。

(村椿市長)

健康センターは、元々の構想では、産前産後ケア施設を整備するところに、健康プラザという形で医療、健康、介護に対応する施設を作るプランになっています。したがって、今の健康センター、高齢者の健康相談所等をどうするのかを考えていく必要があります。今の健康センターの場所のままなのか、違う場所でそういった機能を持たせた施設を整備するのかはこれから考えていきます。百楽荘の件は申し訳なかったですが、老人福祉センターを廃止する方針がすでに決まっているので、老朽化に合わせて廃止させていただきます。ただ、高齢者の生きがい、交流の場、健康づくりの場は必要だと思いますので、改めてどうすればよいのか考えたいと思います。

○パークゴルフ場・水族館・埋没林館について（まちづくり）

パークゴルフ場が汚いし狭いので何とかならないのでしょうか。水族館と埋没林・ミラージュランドがなぜこんなに離れているのか疑問に思っています。他県から、水族館に来て食べるものも無ければ、歩いて埋没林までも行けないのでこれでよいのでしょうか

(村椿市長)

パークゴルフ場をきれいにして、ホール数も増やして、大きい大会もできるようにすればよいと思いますが、最初から拡張することを考えていなかったなので、簡単には拡張できず、移設することも簡単ではありません。環境を少しでも良くして、汚いのは何とかしなければならぬと思います。

食べたり休んだりする所が少ないというのは、おっしゃる通りなので、増やしていこうと思っていますが、全部市役所ですとお金がないので、国から応援してもらった官民連携の事業が今年度の後半から始まっています。どこまでのことをやるのかというところの検討の中で決めていきますが、例えば根本的な施設があまり変わらなくて、少し便利な施設を組み込んでいくなれば、5年も10年もかからないかもしれません。施設の老朽化もあり、根本的に施設を建て直すとなると、もっと長いスパンの話になるかもしれません。皆さんにお伝えできるのは来年の後半くらいだと思いますが、今は市の職員が民間とどう協力するのかを勉強する時間になっています。水族館、ミラージュランド、

総合公園などをどのように作り変えるかは、その後の話になりますが、何もしないということはないので、しっかりそういったものを提供できるようにしていきたいと思いません。

○自殺防止の相談窓口について（まちづくり）

魚津市として自殺防止の相談窓口はないでしょうか。

（村椿市長）

富山県の自殺者の推移で、直近一年間は少なくなっていました。自殺防止対策というのは、県が中心となり、市の相談窓口でも対応することになっております。相談体制は充実していますが、最終的な自殺防止のためには、生活の問題であったり、医療の問題であったり、幅広い分野にまたがるものなので、関係機関の協力連携がとても大事になります。関係機関の相談体制の連携が取られるようになったことが、自殺者が減少していった要因の一つだと思います。若い人に希望を持てる社会を示していくことも、長い目を見たときに必要だと思っていて、生活医療で困っている人にはしっかり相談に乗り、若い人に対しては未来に対して希望の持てる日本であり、地域であることを示していくのが一番だと思います。私としては魚津が若者にとって希望があるよと言える地域にしていきたいと思いません。

○りんご並木について（まちづくり）

本江一区に住んでいますが、ユニークなりんご並木がありますので、この貴重なりんご並木を守っていただきたいと思います。

（村椿市長）

わかりました。

○タウンミーティングの進め方等について（その他）

質問をたくさん用意していましたが時間が足りなかったもので、いろんな方法で質問と回答ができるように、タウンミーティングの進め方を見直してほしいと思います。魚津断層帯の質問ですが、熊本地震の例もあり、いつ起こるか分からないので、避難シミュレーションを市で検討して、我々に教えてください。県の鴨川のバイパス工事が目に見えて進んでいないと思うので、市の予算を使うなどしてしっかりと協議していただきたいと思います。我々は日ごろたくさん要望書を出していますが、大光寺トンネル公園や新川文化ホールの維持管理費をなぜ市で負担しないといけないのでしょうか。予算は限られているので、市として県に言っていただきたいと思います。

（村椿市長）

タウンミーティングでの意見のいただき方は、またよく考えていきたいと思いません。断層の調査や避難対策は少しでも早くできるように頑張ります。鴨川のゲリラ豪雨対策は、工事が進んでいないのはご指摘の通りなので、県に働きかけたいと思いません。施設の維持管理は、これからも県と適切な費用分担ができるように考えたいと思いません。